

市場調査やマッチング先候補を簡単に調査可能なツール等を導入し、水道局が保有する知的財産権を活かしたい！

課題



- 水道局で保有している知的財産権を、必要としている水道事業体等に売り込みたい
- 水道局は、民間企業と共同開発した知的財産権を多数保有している
- 知財の中には活用されず権利維持経費のみかかっている技術もある
- この技術と課題を抱えた水道事業体等をマッチングさせ売り込む
- AIでネット上の活用ニーズの情報と当局知財技術を照合、該当事業体等を抽出する
- 国内貢献施策を推進するとともに、企業努力として安定的な収入を確保する

背景

- 民間企業と共同開発した技術の、市場におけるニーズが不明
- 市場動向の把握には、専門的知識が求められ、時間やコストもかかるため、職員が行うにはハードルが高い。
- また、権利維持に係るコストを回収できるだけの実施料収入が見込めるのかも不明
- 安価で簡易に市場の動向や活用ニーズを把握するための調査やマッチングできる仕組みが欲しい

現場からのコメント



- 共同研究事業者との共有特許など、約20件の特許を保有
(うち実施料収入あるもの 約4件)
- 実施料収入は、約300万円
※令和6年度実績

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

水道局財産管理部門
・ (経理部企画改善担当)

水道局が保有する知的財産権を管理